

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 上越市立公民館の運営と配置に関する基本方針の策定に向けて

4.5

- 2 トピックス 「新年度の展望」 事務局長
- 3 視点 「公民館への期待」 長岡市立東中学校長・佐藤 忠弘
- 3 ひろば 「私たちの文化祭」 十日町市公民館運営審議会委員・井口 敬子
- 6 実践記録シリーズ 「サバイバルキャンプ～今年の夏の主役は君だ！～」 津南町公民館・小林 義明
- 7 サークル交流 「物作りの喜び」(新潟市) / 「楽しく学ぶ、を目標に！」(五泉市)
- 7 素顔拝見 熊谷 健志さん(湯沢町) / 高山 昂さん(新発田市)
- 8 お元気ですか 「趣味に生きる」長岡市・池津 久成さん
- 8 恵贈資料紹介 information



歌うは楽し！（柏崎市）

### 表紙解説

「ボイトレ講座」の一場面です。まさに音楽は世代を超えて、素敵なハーモニーを奏でます。

# 新年度の展望

## 事務局長 田原 理

### 来年度の事業計画

平成26年度の事業計画を立てる時期になりました。

### 各市町村では

平成25年度の事業評価と課題についてまとめる一方で、来年度の予算措置が終わり具体的な事業計画の立案に入っていることと思います。それぞれ担当者の方は多忙のことと思います。同時に、2月と3月で新年度体制を準備して4月1日から新年度スタートになるのはどの市町村でも変わりません。

具体的な事業では、評価の高い事業は継続しながらもう一步前進を目指していくと思います。新規事業は魅力的で市民の参加が多数得られるような内容が求められます。市町村の財政状況は依然として厳しいところが多く、事業予算も限られていると思います。担当者のみなさんの奮闘を願っています。どうぞ頑張ってください。

### 県公連では

さて、県公連の方は2月20日の理事会・評議員会で新年度の事業方針と事業が決定します。その詳細は本紙4月号に掲載する予定ですが、来年

度の大会計画(予定)をお知らせします。

### 1 県大会

期日 平成26年7月17日(木)  
会場 新潟市江南区文化会館  
(新潟市江南区茅野山3-1-14)

主管 新潟市

次期開催地 新潟市・高橋館長



主管の新潟市では開催に向けて準備を進めています。会場は、亀田地区公民館、図書館、郷土資料館が併設されています。平成24年に新設オープンしました。斬新な建築デザインで注目されている施設です。現在、大会テーマ、講演

講師、事例発表等を検討中ですが早急に決定が必要な時期にきています。2月20日(木)に開催される評議員会で開催計画が示されます。

大会を盛り上げるためにも多数の参加がありますよう、各市町村で取り組みをお願いします。

### 2 関プロ大会

今年度は新潟開催で多くの成果をあげていただきました。来年度は埼玉県が主管で開催されますが、今回は全国大会も併せて開催されます。

期日 平成26年10月16日(木)

昨年の新潟大会で大会旗が埼玉県に



会場 埼玉県熊谷市「熊谷会館 他」(熊谷市末広3-9-12)

主管 埼玉県公連

すでに、開催概要が関プロ理事会で示され検討されています。日程は、初日10月16日(木)の午前中に関プロ大会、午後と翌日に全国大会を開催する計画です。

事例発表や記録者等の新潟県の出担は予定です。関プロ大会としては変則ですが、主に表彰等のセレモニーだけの大会になります。

全国大会では、2日目の分科会指導助言者として本県から次の方が予定されています。

### 第1分科会

分科会テーマ

「まなびまなびあう公民館」

指導助言者

中島 純(新潟経営大学教授)

応援の気持ちを含めて、ぜひたくさんの方から参加をお願いしたいと思います。

また、関プロの表彰では、功労者、永年勤続者の推薦をお願いします。推薦要項については、新年度が始まってから文書で依頼します。

# 「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部150円 年間1,800円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

# 視点

## 「公民館への期待」

長岡市立東中学校長 佐藤 忠弘



今、学校に強く求められているのは、「地域と共に歩む特色ある学校づくり」である。そのためには、学校と地域の連携は必須の要件である。

一方、地域の協働力低下や若者の地域離れが課題となっている現状がある。地域のコミュニティの中心としての学校の役割、地域の生活文化振興や社会福祉の増進に寄与する公民館の役割が一層大切になってきていると考える。

とりわけ、地域力増進の拠点である公民館は、戦後日本の地域再建のために生まれたという原点に、改めて立ち帰るべき重要な時代を迎えているのではないか。

新しい時代変化のもとで、公民館が、停滞することなくその役割を果たすに在り方が論議されなければならない。公民館活動活性化のキーワードは「人」「場所」「事業」であると考える。誰を対象に、どこで、どんな活動をするかが、地域住民のニーズに応えられるのが問われる。

公民館は、これまでに地域の教育文化施設（集まる・学ぶ・文化を創造する）の役割を果たしてきたが、今後は、地域の交流センター（知恵を集める・行動する・地域を変える）の役割も十分果たしていくことが強く望まれる。

# H O T N E W S

## 掲 示 板

### 会議案内

#### 〈第2回公民館月報編集委員会〉

本紙の第2回編集委員会が下記により開催されます。

- 1 開催日時 平成26年2月17日(月)午前10時～
- 2 開催会場 新潟市生涯学習センター・中央公民館(クロスパルにいがた)新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地
- 3 会議内容 平成26年度公民館月報前期(4月～9月)編集について
- 4 参加者 編集委員  
長谷川明寿 (県推進センター)  
箕輪香織 (上越市立公民館)  
佐藤和則 (南魚沼市中央公民館)  
丸山敬 (田上町公民館)  
五十嵐聖一 (胎内市中央公民館)  
船山靖子 (新潟市中央公民館)  
川島武 (新潟市巻地区公民館)  
事務局 (田原・高津)

#### 〈県公連第2回評議員会、第3回理事会〉

- 1 開催日時 平成26年2月20日(木)理事会午後1時～評議員会午後2時～
- 2 開催会場 新潟市生涯学習センター・中央公民館(クロスパルにいがた)
- 3 会議内容 平成26年度事業計画、第65回県大会開催要項、表彰基準改正  
関プロ大会総括、その他
- 4 参加者 全評議員19、全理事9、事務局2 計30名

## 「私たちの文化祭」

十日町市公民館運営審議会委員 井口 敬子

中央公民館の公連審委員と地元・水沢地区の公民館運営委員を兼ねて拝命していますが、今回は毎年十月に賑やかに実施される水沢地区公民館の文化祭をご紹介します。

私たち運営委員と公民館を利用して各団体の面々で、前日から準備が始まります。文化祭のメインイベントである演芸会の舞台作りやきのこ汁の材料切り、餅つきのためのもち米研ぎ、作品展示のレイアウト等々。

当日は役員が手際良く動きまわり開始時間を迎えます。今年は37回目を数えることから、地元の方々が多く訪れます。11時過ぎがピークで、きのこ汁やきなこ餅コーナーは無料のためか、それはそれは大にぎわ



い。体育協会も焼きそば等の販売をするのでほとんどの方が公民館で昼食をとり、お待ちかねの演芸会が始まります。地元の芸達者衆が歌や踊り、詩吟、ダンス等を披露し大変な盛り上がりです。当地区は小学校高学年生が総合学習で地元芸能を継承し、毎年公民館の文化祭で発表します。見に来られた親御さん祖父母からやんやの喝采が!!

役員之苦労は大変ですが、職員の手もお借りして毎年の楽しい大イベントとなっています。



# 置に関する基本方針の策定に向けて

員が重複する等地域への負担が大きいと、既存の地域団体を活用するなど、柔軟に対応すべきとの意見が多い。

## (4) 分館施設等の再配置

分館は、教育機関である地区公民館が、必要に応じて地理的・歴史的なまとまりに配慮した社会教育事業を行う会場として置く施設とする。

将来、深刻な財源不足が見込まれる中、市民が社会教育を受ける機会の均等化を図るとともに、持続可能な社会教育事業を進めるため、現在設置されている分館は、次の基準に基づき再配置する。なお既存の分館施設の無い区域においては、分館は増やさず、他の公の施設・町内会館等を会場として事業を行うこととする。

- ① 現小学校通学区域に1施設を存続する。
- ② 中山間地域で旧小学校の通学区域にある分館施設については、小学校の統合後、世代交代の平均的サイクルである30年を経過するまでは、必要に応じて存続する。

### (主な論点)

- ・市民から見た公民館は、行政が事業を行う場所というよりも、コミュニティー活動や生涯学習をはじめとする様々な営みの拠点であり、基準に従って施設が廃止されると、地域の活動ができなくなり、地域のまとまりが壊れるという強い反対意見がある。
- ・多くの地区では、公民館のほかコミュニティープラザ、〇〇開発センター等、コミュニティー活動や生涯学習活動に利用されている施設が複数ある一方、地域の拠点としての施設は、公民館分館として整備し、他の公共施設が無いという地域もある。公民館以外の施設を考慮せず、公民館だけに独自の基準を設けることに批判がある。

## 3 終わりに

全国的に市町村合併によって公民館についても

統廃合が進められ、公民館の数と職員の数が減少していると言われています。新潟県でも同様に、職員の減少により市長部局のコミュニティーセンターへの転用や、施設を無料化して自主運営を進める方策、果ては指定管理制度が導入された例もあると聞いております。

今回の基本方針(案)の策定に当たり、多くの地域住民の率直な意見を聞き、改めて分館への強い思いや公民館の多様な実態を知ることとなったことは、私たち担当職員にとって大変貴重な経験であったと思います。

次年度を目前に、基本方針(案)の修正もまとめの段階にきています。公民館は、地域の課題解決に向けた「公共」を形成していく「核」であることを忘れず、地域の特色を尊重しつつ、「公民館を核とした社会教育の推進」に取り組んでいきたいと考えています。

(注①) 地域自治区：市内をいくつかの区域に分け、それぞれの区に、住民同士が話し合い地域の意見をまとめる「地域協議会」と、区域内の市政運営に関する事務を行う「事務所」を設置する地方自治法に根拠を置く制度。上越市には、28の地域自治区がある。

(注②) 地域協議会：身近な地域の課題について、地域住民自らがその解決方法を議論し、取りまとめた上で、市長に伝えてもらうため地域自治区に設置された機関。



# 特集

## 上越市立公民館の運営と配



上越市立公民館長  
内山 輝義

### 1 はじめに

上越市は、平成17年1月1日、近隣14市町村が合併いたしました。合併に当たっては、事前に多様な事務事業について各市町村担当者が内容の水準調整を行いました。

教育行政とりわけ社会教育の分野においては、各市町村で独自の展開がなされており、水準調整は難航し、公民館の運営方法、事業の数や内容に差異を残したまま、合併を迎えました。合併後も様々な調整が行われましたが、各地区の公民館と町内会や地域振興組織等の関わりの違いから、逆に差異の拡大に繋がってしまったような例もありました。

こうした状況を改善すべく、「上越市の社会教育行政の中心となる機関である公民館の運営及び配置について、社会教育の立場から現状を分析し、課題を整理した上で、全市域で一定の教育水準を確保する。」ことを目的に、基準となる基本方針の策定に取り組むこととしました。

教育委員会担当で基本方針の原案を作成し、市議会の委員会、社会教育委員会議に「この基本方針（案）を以て地域に説明し、意見を求める。」ことに同意を求め、「地域の意見を十分に聞くように。」との付帯意見を付けて同意を得ました。

平成25年4月から6月にかけて、地域自治区(注①)に設置された地域協議会(注②)、公民館活動の支援者である公民館サポーター、さらには公民館利用者等を対象に説明会を実施し、多くの様々な意見が寄せられるとともに、大きな反響がありました。

### 2 基本方針(案)の概要(意見の多かった項目の要点を抜粋)と主な論点

#### (1) 公民館の役割

- ・公民館は、社会教育機関として、市民に地域の課題に即した学習の機会を提供するとともに、市民の仲間作りを支援することで、地域のために行動できる人材と団体を育成し、自主的な地域づくり活動の実践につなげるための橋渡しを行う。

(主な論点)

- ・公民館の役割は、地域の課題を解決する人材や組織を育て、自立した活動への橋渡しで一方的に終わるのではなく、自立した活動への支援を行い、地域づくり活動を支援する等、地域のコーディネーターとしての役割を期待する意見が多い。

#### (2) 教育機関としての公民館の配置

- ・公民館全体を統括する「中央公民館」を置き、市全体の課題に即した社会教育事業を行うとともに、地区公民館を支援する。
- ・28の地域自治区ごとに「地区公民館」を置き、地域自治区内の課題に即した社会教育事業を行うとともに、市民の学習活動を支援する。

(主な論点)

- ・地域自治の基本単位である地域自治区ごとに地区公民館を置くことには、概ね理解が得られている。
- ・地区公民館に置く専門職員としての「協力員」、公民館活動を支援する「サポーター」という名称は、職務内容にふさわしい名称ではない。

#### (3) 地域の特性に応じた運営

- ・地区公民館は、事業方針を踏まえて各地域自治区の歴史や特性に即した「地区公民館運営指針」を策定し、これに基づき運営を行う。
- ・地区公民館に「運営委員会」を置く。  
運営委員会は、地区公民館の運営方針及び事業計画や運営、評価について意見を述べる。

(主な論点)

- ・地域の特性を反映させた事業とするため、「運営委員会」を置くこととしたが、新たな会は委

# 実践記録

## 191

### シリーズ

## サバイバルキャンプ ～今年の夏の主役は君だ！～

津南町公民館 小林 義明

### ◆事業の概要

小学4年生から中学3年生を対象に、3泊4日のキャンプ生活を行います。異年齢集団での共同生活をしながら、様々な自然体験活動を実施します。

また、高校生以上のボランティアも募り、子どもたちと一緒に活動を行います。

### ◆事業のねらい

異年齢集団での共同生活や様々な自然体験活動を通して、自然に対する適応能力や自主性、積極性、協調性、社会性、体力、気力、リーダーシップ力を養うことをねらいとしています。

### ◆活動の様子

#### 【竹細工(コップ・箸・くし)】

キャンプ生活で使用するコップ・箸・くしを作ります。コップと箸は、毎回食事の際に使用します。くしは魚釣り体験で釣った魚をくし焼きにする際に使用します。



#### 【山菜採り体験】

自給自足！自分たちで食べる物は自分たちで調達します。食べられる山菜を学び、自然の食材に感謝しながら現地食材調達します。



#### 【魚釣り体験】

キャンプ場の釣り堀で、ニジマス釣り体験。なかなか釣れずに悪戦苦闘！生きた魚に触ることができて良い経験に！？釣った魚はもちろんおいしくいただきます！



#### 【山伏山登山】

足が痛い。疲れた。暑い。でも仲間がいれば大丈夫！みんなでおしゃべりしながら楽しく登山！山頂に着けば、そこには達成感と絶景が待っています！途中で立ち寄る風穴も涼しくて気持ちいい！



#### 【カヤック体験】

普段ではなかなか体験できないカヤックも、サバキャンでは恒例イベント。サバキャン常連の子は、慣れた手つきでスイスイ進み、初体験も子どもフラフラしながらなんとか進みます！最後はみんな湖に落水！冷たくて気持ちいい！



#### 【火起こし体験】

縄文式の火起こし体験。火起こし道具を使って火

種を作り、火種を綿へ投入。あとは息をフーフー吹きかけて、燃え上がれば大歓声！火起こしだけでもこんなに大変！縄文時代の生活の大変さを実感！



### ◆事業の課題

#### ①活動のマナー化

例年同じ活動なので、少しずつ新しい活動・体験を組み入れていきたいと思っています。

#### ②高校生以上のボランティアの確保

活動や体験のサポート、子どもたちの見張り役などとして重要な役割を担っています。より安全に楽しく充実した活動を行うため、また、ボランティア自身の成長のためにも、より多くのボランティアを募りたいと思っています。

#### ③悪天候時の対応

今年のサバキャンで、悪天候のため中止になった事業があり、ただ待機しているだけになってしまいました。そうしたことを考慮し、前もって別の活動を考えておいた方が良かったと感じました。

### サバイバルキャンプ2013

#### 【目的】

豊かな自然の中で、たくましく生きる力、自然の恵みを活用する知恵と冒険する勇気、自らの体力に挑戦する精神力を養う。仲間との共同生活をとおして、自主性、積極性、協調性を身につける。

【期 日】平成25年7月30日(火)～8月2日(金) 3泊4日

【会 場】津南町山伏山 無印良品津南キャンプ場(TEL766-2860)  
津南町卯ノ木 なじよもん縄文村(TEL765-5511)

【参加者】小学4年生～中学3年生 男子22名 女子25名 計47名  
(津南40名 十日町7名)

#### 【持ち物】

食：1日目の昼食(おにぎり等)、米(8合～1升)、ペットボトル(飲料用)、空の牛乳パック(1㍗)2個(崩さない状態で)、お椀(ご飯用とお汁用)

衣：着替え(4日分※下着も忘れずに)、ねまき(学校の体操着でよい)、長靴、水着(カヤック体験時に着用)、長ズボン、長袖シャツ、帽子、サンダル、靴下(くつずれ予防)、雨具(カッパまたはウインドブレーカー上下)

その他：寝袋または毛布、タオル(数枚)、洗面用具、常備薬(普段服用している薬等)、ポケットティッシュ、懐中電灯、軍手、買い物袋2～3枚(ゴミ袋を兼ねて)、補助リュック(サバイバルウォーク時等に使用)、健康調査票、筆記用具

※持ち物には可能な限り、学校・学年・氏名を記入すること。  
※衣類など、雨等でぬれる心配のあるものは、ビニール袋などに入れて持参すること。

#### 【服 装】自由(動きやすいもの)

はきなれた運動靴(滑りにくいものが望ましい)

【主 催】津南町青少年育成町民会議

【引 率】津南町青少年育成町民会議(健全育成部会)

津南町教育委員会(津南町青少年育成町民会議事務局)  
TEL765-3134  
十日町市教育委員会中里公民館 TEL763-2493

#### 【その他】

- (1) 傷害保険に加入しますが、それ以上の責任は負いかねます。
- (2) 各家庭から緊急に参加者と連絡をとりたい場合  
平日8:30～17:30は津南町教育委員会、それ以降翌朝までと土日はキャンプ場へ。

物作りの喜び

陶遊会

昭和六十二年頃に「楽焼クラブ」として発足しました。

当初は陶芸家の先生を講師に迎えて、ご指導をいただいていた。現在は、先輩から後輩へと技術を受け継ぎながら、年に一回はみんなで近隣の窯元を訪ねお話しを伺い、色々な作品に触れ勉強をしています。

会員の皆さんは、色々な色々な作品に挑戦されていて、窯に入れた作品が思い通りに焼き上がった時は、何とも言えない喜びが得られます。(めったにありませんが...)。普段はおしゃべりをしながら楽しく、そして試行錯誤をして制作しています。

三年前より、秋に行われる



学校の文化祭の作品作りに、南浜小学校の児童さんたちがやってきます。みんな楽しそうに作っています。子どもたちに教えながら、我々も改めて勉強させられています。

六月の北区美術展覧会に出品して、数々の賞をいただいたり、秋の北区公民館の文化祭に出品する作品を作りながら腕を磨いています。

新潟市・陶遊会  
菊池 幸忠 記



「楽焼クラブ」を  
目標に

こせん女性学級

昭和三十三年から続く歴史ある団体です。約七十名の学級生が月一回集まり、運営委

員が計画した多種多様な学習を楽しんでいます。

例えば、昨年の大河ドラマ「八重の桜」にちなんで、当時の五泉の歴史を勉強したり、市の文化展への出品を目指した作品の制作に取り組んだり、楽しく目的を設定した学習内容となっています。

体を動かすレクダンスやウォーキングもあります。ウォーキングは、ただ歩くだけでなく、城下町だった村松藩の史跡を学級生の説明を聞きながらめぐるので、とても好評でした。説明を担当した学級生はとても大変だったと思います。



五泉市こせん女性学級

樋口笑美子 記

昨年4月から紫雲寺地区公民館に勤務している高山昂さんを紹介します。

高山さんは、新採用から5年間保険年金課で勤務し、初めての異動で地区公民館勤務となりました。

当初は、慣れない仕事に不安や戸惑いも大きかったと思われていますが、どの仕事も淡々とこなし、担当する子どもも交流体験事業「風の子クラブ」の子どもたちからは「高ちゃん」と呼ばれ

新発田市紫雲寺地区公民館  
主事 高山 昂さん



ながら、楽しそうに活動しています。

趣味はコンピューターゲームで、朝礼でもゲームの話題が出ることも多々あります。

これからは、持っている個性を発揮し、地区全体を盛り上げてくれると期待しています。

ちなみに名前の「昂」は「あきら」と読みます。(新発田市紫雲寺地区公民館 青木 勇 記)

～公民館職員の流儀?～ とある朝。元気に出勤する熊谷の姿があった。事務室には、大きなボードにびっしり埋まった貸館予定の月次表。熊谷は鋭い目つきでボードを見つめる。すると玄関先の本日の予定表に書き写した。来館者を迎える準備だ。窓口対応が始まると、その鋭い目つきはさわやかな笑顔へと変わる。そんな日常だ。

今年度から熊谷は、湯沢町公民館を勤務の本拠地とした。それまで建設系の部署だった熊谷は、施設の修繕もお手の

湯沢町教育委員会 教育課 生涯学習班  
主事 熊谷 健志さん



物だ。財政サイドを恐れず、修繕工事を発注する熊谷は、補正予算要求を繰り返す。「来館者には、いい気持ちで使ってほしい。」熊谷の一途な気持ち、財政サイドを突き動かす。

社会教育主事資格保有者、熊谷の戦いは始まったばかりだ。

(湯沢町教育委員会 教育課 生涯学習班 主任 田村 康大 記)

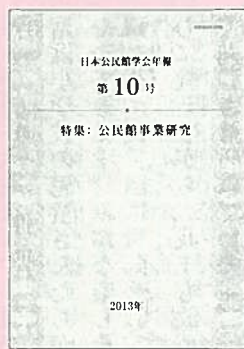
素顔  
拝見

毎年、この時期に発行される  
公民館学会の平成25年度版です。  
本書では、特集として「公民館事業研究」を取り上げ、現状把握、実践事例を中心に構成され、事業の多角的検討の資料として収録されています。

全編217ページにわたり、1〜7部構成になっています。

第1部 特集(公民館事業研究)  
第2部 自由投稿論文 論文2  
実践報告1

第3部 国際交流・比較研究  
第4、5部 公民館学会研究大



第6部 公民館をめぐる動向  
第7部 公民館学会年報総目次  
第6部では、千葉県、長野県、松本市の動向が取り上げられています。

# 恵贈資料紹介

## 「日本公民館学会年報 第10号」

発行 日本公民館学会

会報告、研究活動報告

問い合わせ

〒3005-8572

つくば市天王台1-1-1

日本公民館学会事務局

筑波大学人間系生涯学習・

社会教育研究室

電話

080-3402-5967

FAX

029-853-6721

E-mail:koinikangakkai

@yahoo.co.jp

# お元気ですか



「趣味に生きる」 池津 久成 (長岡市)

退職して二年が過ぎようとしています。退職直後から、勤務中に知った公民館の講座に参加しています。

それは『草花・盆栽教室』です。学生時代から高山植物等の野の花が好きだったので、山野草を育てる目的で参加しました。しかし、松柏等の小品盆栽にも興味が湧き、少しずつその数を増やしています。その為、朝夕には散水等の手入れで日々忙しくしています。

また、以前からやっていた写真にも少しずつ力を入れています。風景や山野草の撮影の為、旅行を兼ねて四季折々に夫婦で各地に出かけ、楽しんでいます。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

## information

本会と協力関係団体にある会議が下記のとおり開催されます。

- 1 深めよう 絆 にいがた県民会議  
平成26年2月4日(火) 新潟県自治会館 午後3時～
- 2 県社会教育団体懇話会事務局長会  
平成26年2月5日(水) 新潟県生涯学習推進センター  
午後2時～
- 3 県社会教育委員の会議  
平成26年2月6日(木) 県庁 午後1時15分～

\*すべて事務局長が出席予定です。会議の様態等を月報3月号に掲載します。

## 地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員 12 市町では国土保全を念頭に、地すべり地域の保全と自然環境の保護及び地域振興に取り組んでいます。

そのため、地すべり防止対策事業や関連事業による農業並びに生活基盤の改善を積極的に推進しています。

新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会  
会長 (妙高市長) 入 村 明 (会員 12 市町)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館 (新潟県市長会内)  
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

**事** 務局長のつぶやき  
2月は節分、バレンタインデーなどの年中行事がありますが今年はずちオリンピックがあり一層賑やかです。節分は豆まきと決まっていますが、最近は「恵方巻き」も多いようです。恵方(福のある方角)に向かって願い事を思い

浮かべながら、太巻き寿司を無言で一本丸ごと食べる。我が家でもしばらく前からやっていますが、一本丸ごとというのが結構つらい。満腹のあとの晩酌のまずいこと。やらないと妻の機嫌が悪くなるので節分は我慢の日になりました。

(田原)